

(第11号様式)

# 事業実施報告書

- 1 事業の名称 被爆70周年 NY原爆記念式典参加プロジェクト「献花」
- 2 実施時期及び実施期間 平成27年8月3日(月)~平成27年8月9日(日)7日間
- 3 実施場所 ニューヨーク・マンハッタン、広島(前年度の地図別紙)
- 4 実施主体 広島セブンリバーズ写真倶楽部

5 事業の目的 70周年原爆記念として様々な式典やイベントが広島で企画される中、広島市民の気持ちを海外で紹介したいという気持ちから、過去2回8月4、5日に広島平和公園内で夜、広島市民ベースの写真クラブが発表した写真スライドイベント「献花」の写真展を紹介。毎年NYで8月5日(現地時間)行われる式典に参加、ノーモア核兵器、宗教を超えた式典での交流に参加する。

## 6 実施内容(箇条書き)

- 毎年行われるニューヨーク午後7時15分平和の鐘とともに歩く平和ウォークへの参加
- 8月5日式典、6日タイムズスクエア オープンスペースにて、過去広島で市民が撮りためた写真を紹介。
- 8月5日の式典への参加、NY現地に集まる地元の人々との交流会に参加。
- 交流会でお好み焼きを作り、食を通して交流を深める

## 7 参加人数又は派遣人数(国外に派遣した場合、広島市民の人数も)

5人 (国外へ派遣する場合、うち広島市民の人数 5人)

## 8 実施効果(箇条書き)

- 500名の式典の参加者の前で広島市民の撮りためた写真を長崎の合唱団と共にスライドで紹介。
- 期間中写真展に写真、手作りの灯籠を展示、おりがみ講座等日本文化のイベントに参加。
- 広島から持参した手作り灯籠が参加されたニューヨーカーの手に渡り、それぞれ灯籠を持ちセントラルパークのストロベリーフィールドへピースウォーク。イマジンの合唱に参加。
- お好み焼き交流会にてお好み焼きを振る舞う。  
NY日本人会でNY在住の広島長崎出身の方達と一緒に好み焼きを食べる。
- 8月6日、タイムズスクエアのパブリックスペースで、シャドープロジェクト(3月にNYから来広した学生達とのジョイントイベントに参加。)パブリックスペースなので道行く人々の目に留まった。

<まとめ> 広島長崎を想って集った500名ものニュー Yorker 達が遠くを見つめながら祈りを捧げる姿を見ながら、私たちの広島の写真を投影することができた事が想いがひとつになった交流になったと想います。それぞれの方が私たちの手作り灯籠をピースウォークの後にそれぞれ家に持ち帰って頂きそこに集まれなかった家族の中に、広島の風景が届けられたと思うと、目に見えないところで何かがこれからも育っていくように思えて感慨深かった。

(第13号様式)

## 事業実施内容及び所感文

事業名： 「被爆70周年NY原爆記念式典参加プロジェクト「献花」

団体名： 広島セブンリバーズ写真倶楽部

実施時期及び実施期間：平成27年8月3日(月)～平成27年8月9日(日)  
(7日間)

実施内容：

日 程	場 所	交流・協力活動名	内 容
平成27年 8月4日(火)	マンハッタン ウエストサイド	写真展、折り紙等日本 文化イベント参加	写真展設置(8月4日～8日まで)。折り紙等の日本を紹介するイベントに参加。一緒に折り紙を書いたり写真展示を通して地元の方、イベント参加者と交流した。
平成27年 8月5日(水)	マンハッタン	平和式典参加	●平和ウォークの出発点、本願寺仏教会NY支部から平和ウォークに参加。会場であるキリスト教教会までを地元の平和を願うために集った人々と一緒に歩いて参加する。 ●毎年NYで開催される原爆記念日式典に参加。 ●式典で写真を紹介、当日集まったNYならではの巡り会える宗教を超えた人々との交流をはかる。
平成27年 8月6日(木)	マンハッタン・タイム ズスクエア	パブリックアート交流 参加	タイムズスクエア オープンスペースにて、過去広島で市民が撮りためた写真を、今年ニューヨークから広島に行った若いアーティスト達と一緒に紹介。
平成27年 8月7日(木)	マンハッタン ウエストサイド	お好み焼き会	お好み焼きを囲んで平和式典に参加される地元の方々との交流会。広島の食を楽しんでもらいながら、地元のソウルフードを楽しむ。

所 感

○500名の式典の参加者の前で広島市民の撮りためた写真を長崎の合唱団と共にスライドで紹介。

○期間中写真展に写真、手作りの灯籠を展示、おりがみ講座等日本文化のイベントに参加。

○広島から持参した手作り灯籠が参加されたニューヨーカーの手に渡り、それぞれ灯籠を持ちセントラルパークのストロベリーパークヘピースウォーク。イマジンの合唱に参加。

○お好み焼き交流会にてお好み焼きを振る舞う。

NY 日本人会で NY 在住の広島長崎出身の方達と一緒にお好み焼きを食べる。

○8月6日、タイムズスクエアのパブリックスペースで、シャドープロジェクト（3月にNYから来広した学生達とのジョイントイベントに参加。）パブリックスペースなので道行く人々の目に留まった。

○11月23日、NY 平和式典を開催されている中垣僧侶を広島に招いて講演会を開催、NYから観るヒロシマほか、様々なお話をさせていただきました。

<まとめ> 広島長崎を想って集った500名ものニューヨーカー達が遠くを見つめながら祈りを捧げる姿を見ながら、私たちの広島の写真を投影することができた事が他国の方達、特にニューヨークで広島を想う人たちと想いがひとつになった交流になったと想います。それぞれの方が私たちの手作り灯籠をピースウォークの後にそれぞれ家に持ち帰って頂きそこに集まれなかった家族の中に、広島の風景が届けられたと思うと、目に見えないところで何かがこれからも育っていくように思えて感慨深かったです。

広島から世界を見つめるだけでなく、他国から8月6日を見つめることで、広島人としての私たちの役割が見えてくると想いました。今後の活動の方向も探る事ができました。今後ともまた広島の写真を持って各国に行く人々を後押しすることも手伝っていきたいと想いました。今回はある高校の被爆樹の写真も紹介することができたので、学生達の気持ちや視線も国際交流に目が向いたことも良かったことだと想います。

11月23日にNYの平和式典主催者、中垣僧侶の講演会をひとまちプラザにて開催し、今度はNYから見たヒロシマのお話を聞きました。最近のテロ等には広島長崎の報復を求めない平和の追求が悪の連鎖を止めるヒントになるようにというお話を聞きました。

(第14号様式)

## 添付写真

事業名：「被爆70周年NY原爆記念式典参加プロジェクト「献花」

団体名：広島セブンリバーズ写真倶楽部

1 説明：式典にて、合唱団の後ろでスライドショーを流しました。とても大きなスクリーンに映し出された私たちの写真、スライドショーと合唱のコラボレーション、迫



力の舞台となりました。前においてあるのは持参した手作りの灯籠です。

### 説明2

式典後、参加者が灯籠を持ってセントラルパークのストロベリーフィールドまで Peace Walk. マンハッタンの夜の町に、灯籠にプリントされた広島の写真がとても綺麗に馴染みました。

